

■米国：NYISO、卸電力市場でのカーボンプライシング導入は2021年以降

ニューヨーク（NY）州の卸電力市場を運営する NYISO がタスクフォースで使用した 2018 年 7 月 16 日付の草案によると、炭素価格が卸電力市場に組み込まれる時期は早くとも 2021 年の第 2 四半期以降になる見通しである。NY 州は温室効果ガス（GHG）排出削減目標として 2030 年までに 40%、2050 年までに 80%（いずれも 1990 年比）削減する計画で、NYISO は卸電力取引に炭素価格を導入することで州が実施する政策を補完することを検討している。炭素価格については、既存の再エネ導入促進助成金であるクリーン電力証書（REC）から補助を受けた事業者が炭素価格からも補助金を受け取ることは、需要家に対し二重にコストを負担させるおそれがあるとの懸念が州内産業および商業組織等から示されていた。これに対し NYISO は同草案の中で 2020 年 1 月以前に REC による補助金を受け取った事業者は炭素価格を受け取る資格が得られないこととする対策案を示した。